

Information

第14回日本リハビリテーション 栄養学会学術集会

日時▶2025年1月25日(土)

会場▶川崎市コンベンションホール(神奈川県川崎市)

テーマ▶常識を超えるリハビリテーション
栄養

プログラム▶大会長講演 鈴木規雄(聖マリアンナ医科大学)／特別講演「One of them から one for all の栄養とリハビリテーションの連携」中村丁次(神奈川県立保健福祉大学)／米国栄養士会医療部会 PM & R 部会・リハ栄養学会管理栄養士部会合同セッション「The Role, Practices, and Research of Registered Dietitians in Physical Medicine and Rehabilitation」Dr.Yoji Kokura (Keiju Hatogaoka Integrated Facility for Medical and Long-Term Care), Dr.Olivia Morgan (Spaulding Rehabilitation Hospital), Dr.Shinta Nishioka (Nagasaki Rehabilitation Hospital), Dr.Kelly Carbo (TIIR Memorial Hermann)／学会企画セッション①「リハ栄養的視点による GLP1 作動薬, SGLT2 阻害薬の使いこなし方」小坂鎮太郎(都立広尾病院), 塩濱奈保子(京都済生会病院), 松本彩加(熊本リハビリテーション病院)／②「急性期におけるリハビリテーション栄養の可能性」松嶋真哉(杏林大学), 福勢麻結子(東京医科大学病院), 折津英幸(横浜市立大学附属病院), 児島範明(関西電力病院), 石原寛久(東海大学医学部附属病院)／③リハ栄養指導士セッション「リハ栄養指導士が紐解く『リハ栄養ケアプロセス』」藤原大(宮城厚生協会坂総合病院), 「リハ栄養アセスメント・診断推論およびリハ栄養診断」阿部沙耶香(札幌西円山病院), 「『リハ栄養ゴール設定』について」高尾優一(社会医療法人東明会原田病院), 「看護職がリハ栄養指導士を目指したきっかけと今できる活動および課題」浅田宗隆(松下記念病院)／ジョイントシンポジウム①日本カヘキシア・サルコペニア学会合同セッション「がん・非がんのカヘキシアとリハビリテーション栄養の意義」小西正紹(横

浜市立大学), 天野晃滋(大阪国際がんセンター), 飯田有輝(愛知淑徳大学), 遠藤美織(竹田総合病院)／②関西中部心不全栄養療法研究会・神奈川心不全栄養研究会合同セッション 福田章人(高の原中央病院), 米田昌代(高の原中央病院)／③日本サルコペニア・フレイル学会合同セッション「サルコペニア肥満のリハ栄養—痩せに対するだけじゃないリハ栄養」佐竹昭介(国立長寿医療研究センター), 前田圭介(愛知医科大学), 杉本研(川崎医科大学), 吉村芳弘(熊本リハビリテーション病院)／④日本臨床疫学会合同セッション「PRO(患者報告型アウトカム)を臨床研究に活用する」福原俊一(京都大学)／⑤JSPEN 合同セッション「リハ・栄養・口腔管理の三位一体の現状と展望」光永幸代(神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター), 南里佑太(北里大学病院), 高橋理美子(横浜市立大学附属市民総合医療センター), 田中舞(市立砺波総合病院)／⑥日本災害医学会・日本栄養士会合同セッション「災害時のリハビリテーション栄養—立ち足る壁をどのように乗り越えるか?」下浦佳之(日本栄養士会), 矢田哲康(町田市民病院), 徳田紀子(ニッ屋病院, 石川県言語聴覚士会), 小蔵要司(介護医療院恵寿鳩ヶ丘・恵寿総合病院)／教育講演① 西岡心大(長崎リハビリテーション病院)／②「骨格筋の評価—筋力, 筋量, 筋厚, 筋輝度などの評価方法の実践」村田裕康(杏林大学医学部附属病院)／③永野彩乃(西宮協定脳神経外科病院)／④川瀬文哉(JA 愛知厚生連足助病院)／⑤「最新の栄養療法ガイドラインから導かれる急性期のリハビリテーション栄養」中村謙介(横浜市立大学附属病院)／⑥岩津弘太郎(順天堂大学)／⑦「リハ薬剤の最新の知見」小瀬英司(順天堂大学医学部附属順天堂医院)／⑧「リハ栄養の実践—病院から在宅への移行の実際, 移行に向けての注意点」朝倉之基(Nurse Innovation 株式会社 Five Star 訪問看護・栄養管理 Station)／一般演題／ランチョンセミナー
*教育講演はオンデマンド配信(会期後, 約1か月)

参加申込期間▶~2025年2月21日(金)

参加費▶会員 7000 円, 非会員 9000 円,

学生・研修医(大学院生を除く)無料

*学生は学生証のアップロード要

参加申込方法▶下記 Web サイトの参加登録ページより

問い合わせ先▶運営事務局

〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 3-28-6 カーサブランカビル 5F-504 株式会社シガール内

☎ 045-565-9822

✉ jarn14@e-cigale.co.jp

<https://jarn2025.com/index.html>

医療・病院管理研究協会 特別講演

日時▶2025年2月22日(土)14:00~16:00(見逃し配信あり)

会場▶株式会社ホギメディカル4階会議室(東京都港区)

プログラム▶「医療介護政策の方向性—令和6年度診療報酬改定を踏まえて」眞鍋馨(厚生労働省)／「医療介護政策の方向性—令和6年度介護報酬改定を踏まえて」古元重和(北海道大学大学院)

参加費▶無料(定員 50 名)

参加申込方法▶下記 Web サイトの申込フォーム, または E-mail, FAX にて

問い合わせ先▶公益財団法人医療・病院管理研究協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-29-8 公衛ビル

☎ 03-3352-2575

FAX 03-3352-2575

✉ kenshu@byoken.com

<http://byoken.com/>

第39回日本がん看護学会 学術集会

日時▶[現地+ライブ配信] 2025年2月22日(土)~23日(日), [オンデマンド] 2025年3月中旬~1 か月予定

会場▶グランドメルキュール札幌大通公園(旧・ロイトン札幌), 札幌市教育文化会館(いずれも札幌市)

テーマ▶共に学び, 共に創る

プログラム▶会長講演「共に学び、共に創る」川村三希子（札幌市立大学）／特別講演「Patients から Person へ」石垣靖子（北海道医療大学）／教育講演①「看護師が理解しておきたいジェンダー／セクシュアリティの多様性〈基礎編〉」原ミナ汰（特定非営利活動法人 共生社会をつくる性的マイノリティ支援全国ネットワーク、一般社団法人 SOGIE 相談・社会福祉全国協議会）／②「支持療法・緩和治療領域研究ポリシーの紹介とがん看護研究への活用」松本禎久（がん研究会有明病院）／③「がん看護に役立つ最近の緩和ケアのエビデンス―患者・家族の視点から」森田達也（聖隷三方原病院）／④「患者報告型アウトカム（PRO：Patient Report Outcome）―患者の体験をケアに活かす」宮下光令（東北大学大学院）／⑤「がんゲノム医療の現状と今後の展望―将来の保険適応やドラッグ・ラグ解消に向けて」木下一郎（北海道大学病院）／シンポジウム①「地域の実情や病院の特性に合わせた在宅がん医療の様々なかたち―北海道での取り組みをもとに、自分の地域（まち）でのあり方を考えよう」笹原千晶（手稲溪仁会病院）、梶原陽子（札幌南徳洲会病院）、島田啓志（国民健康保険由仁町立診療所）、部川玲子（北見赤十字病院）／②「がんになっても自分らしく暮らせる社会を目指して―がん対策を患者に届けるために」箕浦祐子（厚生労働省健康・生活衛生局）、森田佳美（奈良県福祉医療部）、瀧川千鶴子（KKR 札幌医療センター）、橋本久美子（聖路加国際病院）／③「がん看護領域での役割拡大に向けた特定行為の実践と課題―特定行為研修が終了したがん看護領域認定看護師の役割と活用」菅野かおり（日本看護協会神戸研修センター）、川村真紀（姫路聖マリア病院）、國次葉月（徳山中央病院）、渡辺由美（恵佑会札幌病院）／④「患者―看護師関係を基盤とする患者主体の症状マネジメント」荒尾晴恵（大阪大学大学院）、田墨恵子（大阪大学医学部附属病院）、西恭佳（和歌山県立医科大学附属病院）、團塚恵子（札幌医科大学附属病院）／パネルディスカッション①「がん患者のせん妄を理解しエビデンスを元にケアしよう―せん妄ガイドラインを活用したがん患者へのせん妄の

薬物療法・非薬物療法の実践」角甲純（三重大学大学院）、野村優子（都立駒込病院）、西田真理（北海道大学病院）、上村恵一（斗南病院）／②「納得がいく意思決定のための支援―患者のヘルスリテラシーを高める情報提供・コミュニケーション」中山和弘（聖路加国際大学大学院）、近藤まゆみ（北里大学病院）、佐藤こずえ（北海道大学病院）、滝澤ひとみ（Luxia、北海道がんセンター）／③「がん患者へのアピランスクア―誰もがケアを受けられる社会に向けて」高田美香（青森県立中央病院）、三井里美（AYA 世代患者会アヤキタ！、北海道札幌看護学校白桜高等学園）、吉尾和代（HAIR & MAKE SALON 8、一般社団法人 CANnet 医美 Labo 北海道）、藤間勝子（国立がん研究センター中央病院）／④「高齢がん患者の薬物療法の選択と倫理的課題―それって過小治療？過大治療？」岩永一郎（札幌厚生病院）、山谷淳子（手稲溪仁会病院）、杉田智子（ファミリー・ホスピス京都北山ハウス）、吉岡佐知子（松江市立病院）／⑤「がんと性のことを語り合う―あなたはがん患者さんやご家族の問いかけに答えられますか？」高橋都（NPO 法人日本がんサバイバーシップネットワーク）、渡邊知映（昭和大学）、松田夕香（札幌医科大学附属病院）、岸田徹（NPO 法人がんノート）／学術集会・教育活動委員会合同企画／教育活動・国際活動委員会合同企画国際シンポジウム／委員会企画／交流集会／患者・家族参画プログラム

参加申込期間▶[一次]～2025 年 1 月 6 日（月）17:00、[二次] 2025 年 1 月 20 日（月）10:00～2 月 23 日（日）17:00

参加費▶[一次] 会員 1 万 1000 円、非会員 1 万 3000 円、学生 3000 円、[二次] 会員 1 万 2000 円、非会員 1 万 4000 円、学生 3000 円

*登録者はオンデマンド配信視聴も可（但し、交流集会等一部セッションは現地開催のみ）

*学生は大学生・看護学校生（修士課程生は除く）、登録時学生証アップロード要

参加申込方法▶下記 Web サイトの参加登録ページより

問い合わせ先▶運営事務局

〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A あゆみコーポレーション内

☎ 06-6131-6605

FAX 06-6441-2055

✉ jscn39@a-youme.jp

<https://plaza.umin.ac.jp/jscn39/>

*掲載している情報は 12 月 1 日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。